

## 「地域住民の意識調査アンケート」集計報告（続）

### （月報86号 Q. 重伝建に指定されてよかったですか？の続き）

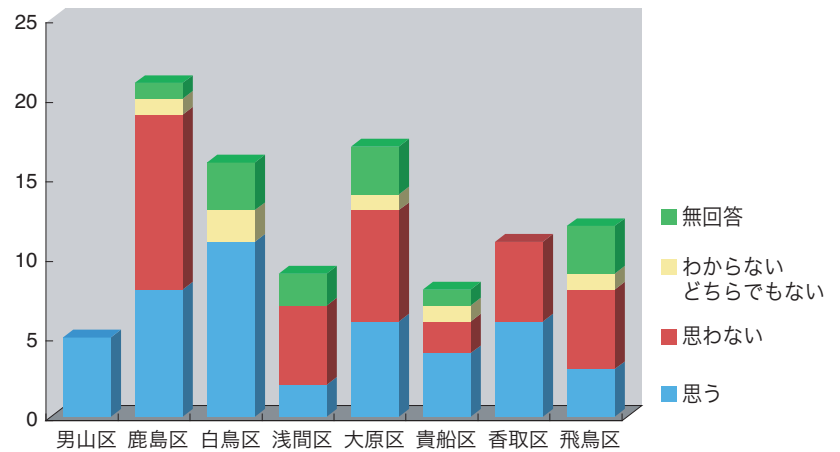
次に地区別の回答を見てみましょう。  
まず、目につくのは、男山、白鳥という、重伝建新参区は、否定的な意見が一切ありません。これは過去の経緯にとらわれていないことが最大の要因ではないでしょうか。

これに比べて、あとの六区のうち、飛鳥区、鹿島区、浅間区、大原区は、「思わない」が「思う」を上回っています。

区別の回答数のばらつきはありますが、おしなべて古くから取り組んでいる区は、現状に満足してない実態があるように見受けられます。

この傾向の原因を割り出し、改善していくことが、今、西組を取り巻いている問題点を浮き彫りにし、住民の総意を得たまちづくりを実現する上で、とても大切なことに思えてなりません。

では、最も興味深い、「その理由」について一覧してみます。



### Q. 重伝建に指定されてよかったと思う理由は何ですか？

- 話題ができた。(50代男性)
- 現代建築より古風な建物が好きだ。(70代男性)
- 補助金が出るので修理がしやすくなる。(50代男性)
- 何時までも住み良いまちをつくるために。(70代女性)
- 家並みの統一で景観がよくなる。ただし、今現在、道、それに伴う道路などの整備が整っていない。また、景観統制に対する向上意識があまりない。(50代男性)
- 地域的にも狭い土地柄、開発される予定なく発展性がない故、現状維持と観光資源の育成には、選定されてよかったなと思う。(70代男性)
- 80%の補助で主屋から土蔵まで直してもらえるのだから、良かったのではないのでしょうか。(70代男性)
- 今はバラバラですが、全体的に揃った町並みが楽しみです。(50代男性)
- 昔の町並みが少しずつ増え、観光客もまた増えてきている。(60代男性)
- まちづくりの方策が増えたから。(40代男性)
- 観光客が増えた。(60代男性)
- 三丁町を中心に町並みが整備されてきた。(70代男性)
- 昔から若狭の京都といわれる通り、落ち着いた建物、町並みが子供たちのために引き継がれていく。そのために制度的に手が打たれたことは大変に良かった(70代男性)
- 建築物等、規制がかかるが、小浜西組の建造物を生かし、また、歴史などを共にまちづくりの原点になる。(70代男性)
- 先祖代々伝わってきた家々を勝手に壊すことができなくなったこと。(60代男性)
- 昔からの町並みが残ることは良いと思う。(60代男性)
- 住民の意識が変わることによって、小さなこと

に対しても重伝建を見据えた対応ができる。  
(60代男性)

- 多くの人に認識され、観られることにより、自分たちの街が住み良い、よりよい街になることを再認識し、努力しようと思う。(50代男性)
- 町並みの見た目が揃ってきれい。(40代女性)
- 地域住民が連帯感を持つようになった。自分の街に誇りを持てるようになった。(50代男性)
- 今後も静かで落ち着いた古い町並みが保存されていく。観光小浜のひとつとしてお客さんが増える。(60代男性)
- 先祖から受け継いだものを大切に守り続けたいが、現存する家屋等を相続する人間は存在しないため、いろいろ苦慮している。(60代女性)
- 町並みの認知度が上がった。町並みが少しずつ雰囲気が出てきた。(50代女性)
- 建物を修理するのに補助金が出るようになり、修理する家が増えたこと。(40代女性)
- 重伝建地区に選定により、地域の保存状態が良くなるとともに、活性化につながる。(70代男性)
- 少なくとも人通りが増えた。(60代男性)

- 軒を連ねていた町並みの家屋が取り壊され、更地となり、また駐車場となり、歯抜けのようになるのは寂しい。(80代女性)
- 重伝建地区となり、家屋の取り壊しに歯止めがかかればよいと思う。そして住民が古いもの、中のよきものを見直すようになればよいと思う。(80代女性)
- 町並みの整備ができてよくなる。(50代女性)
- 古い町並みによって、住んでいる私たちにも癒しとなって古いものを大切にしていくという気持ちを持てるようになりました。(40代女性)
- 指定以前は全くと言っていいほど無視されていたが、現在では少し変わってきたかなと思う。(70代男性)
- 古い家のままで保存でき、助成金が加味される。内部については制約がない。(70代男性)
- 三丁町がきれいになった。人通りも増えた。(30代男性)
- 改築等のとき、費用面で大変助かると思います。(60代男性)

(次号に続く)

## 小浜西組重伝建地区 修理見学会開催

平成23年10月29日(土)、市の主催で重伝建保存修理事業を行なっている谷口勝章氏のお宅(小浜飛鳥)、高鳥歯科医院(小浜鹿島)、河原英二氏のお宅(小浜鹿島)の3軒を見学させていただきました。3軒とも屋根瓦の葺替えは終わり、家屋や土蔵の修理中でありましたがどんな風に生まれ変わるのか楽しみにしたいと思います。

今回の修理見学会に参加した大野高校3年 <sup>ふじいけいこ</sup>藤井稀子さんから投稿をいただきました。

### 小浜西組の修理見学会に参加して

福井県立大野高校 藤井稀子

大学受験での研究発表のため、小浜西組の町家の調査をしに私は初めて小浜市を訪れた。インターネットや書物でみる小浜市や西組の町家の写真や文献をみて、私は「きっととてもいい町なのだろうな」と感じていた。今回、実際に小浜市に来てみて、改めてそのことを実感した。歴史や伝統・文化の残る町家、きれいな海や山、そして小浜市の心優しい方々、本当に来てよかったと思った。そしてこの目で重伝建を見ることもできた。いきなり押しかけての重伝建修理見学会の参加であったが、係の方や地域の方、建築士の方など



とても親切にしてくださった。重伝建地区に足を踏み入れた瞬間まるで昔にタイムスリップしたかのような感覚になった。実際に見る重伝建は質素ながらも迫力があり、最初に見たときはつい言葉を失ってしまった。建物の内外、建て方など昔の人たちの工夫がたくさん施されておりとても感銘を受けた。

私は大学に進学し将来は観光で地域振興に努めたいと思っている。小浜市に来てより自分の将来の夢を叶えたいと思った。今回お世話になった小浜市の方々のためにも、大学に合格し、そして地域振興を通して西組の町家のような歴史や文化を未来に残していきたいと思う。

## 小浜西組 8 区対象の住民説明会

平成20年6月に重伝建に選定されてから市の説明会が全く行なわれていないという住民の声をうけての開催となり、当協議会も現在の活動報告と協力をお願いをしようと市と共催で行なっております。すでに6区(貴船 鹿島 男山 大原 香取 飛鳥)が終わりました。

### 各区から出た質問および意見等

**大原区** 平成23年10月24日(月) 午後7時30分から 大原会館にて 15名出席

**\* 今、説明があったのは火災のことがメインでしたが、5月の災害では西組地区も水害があった。水害に対する整備についてはどうなっているのか？**

⇒今後市では次年度以降に公共下水道地域で、地形や排水機能、降雨状況に基づいた浸水によるハザードマップを作成し、この結果に対する避難場所や情報伝達の検討を考えている。

**\* 電線地中化・電線整備をいつから行うのか？**

⇒道路の石畳舗装や電線の地中化等の公共整備は補助金を活用必須としており、平成25年度あたりから取り組めるように要望している。

**\* 公共整備を行なう地区の優先順位はあるのか？  
区民の署名を行って要望すると優先順位が高くなるのか？**

⇒まちづくりは全体で取り組むことであり、署名要望を行なって整備の優先順位が高くなるものではない。



**香取区** 平成23年10月29日(土) 午後7時30分から 庚申堂にて 9名出席

**\* 昭和30年以前の建物を毎年3軒ずつ修理していくとなれば100年以上かかる。何年度でどの程度修理する計画であるのか？地区を決めて修理を推進することはできないのか？**

⇒伝建物は260件の登録があり、これ以外にも修景もあるため、建物の改修は長年にわたると考

えられる。年3～6件で修理事業費によって修理件数は変化する。

**\* 公共整備（電線埋設、消火栓の整備等）も建物修理の補助金と一緒にあるのか？公共整備にかかる費用はどのくらいか。どの地区から実施する等の優先順位はあるのか？**

⇒公共整備費は国土交通省、建物修理補助金は文化庁と別となる。事業費は1km数億円と考えていただきたい。優先順位については小浜西組町並み協議会から「三丁町の道路を優先に」と要望を受けている。

**\* 屋根瓦を葺替えたいが修理事業手続きに1年半もかかると雨漏りもひどくなる。先に工事をしても補助が受けられるのか？道路から見えない範囲でも補助を受けられるのか？**

⇒手続きを終えてから工事にかかってほしい。伝建物は見えない範囲でも補助を受けることができる。

**\* 下水道工事をするのに建物を触るが工事の申請をしなればいけないのか？下水道工事をするのに市の補助金がでるのか？**

⇒建物に関係する工事を実施する場合には、現状変更申請を提出していただく必要がある。下水道工事に関する文化財補助金はないが、市の上下水道課で実施している融資制度がある。



**\* 道路整備と雨水排水の整備を一緒に行なうのか。**

⇒公共整備（道路整備等）と合わせて雨水排水設備も検討していく予定である。

**\* 空き家を活用して、居住人口が増加するような事業を市で取り組んでほしい。**

⇒市では協議会の方と協力して空き家の活用に取り組みたいと考えている。

（町並み協議会から説明）協議会では市と協働して空き家の調査を実施し、空き家の所有者に売る気があるのか、貸す気があるのか回答を求め、8件だけその気があることがわかった。メディアにも小浜西組の空き家対策が紹介され数件問い合わせがあったが、1軒だけ話が成立した。今後も空き家の提供や空き家所有者を紹介していただきたい。

当協議会からは桂田事務局長より、アンケート結果の閲覧希望者は協議会役員に申し出てほしいということ、先進地視察研修に参加のお願い、一門一灯運動の行灯設置協力の依頼をしました。

## 小浜西組町並み協議会からの 活動報告とお知らせ

### 企画運営部より

町並み保存資料館では『川柳色紙展』を平成23年11月30日（水）まで行なっています。興味のある方はぜひ足を運んでください。  
休館日 火曜日



町並み保存資料館の開館時間変更のお知らせ

期間：平成23年12月1日（木）～平成24年3月31日（土）  
時間：午前10時～午後4時

